アメニティデザイン企業

DAIKEN

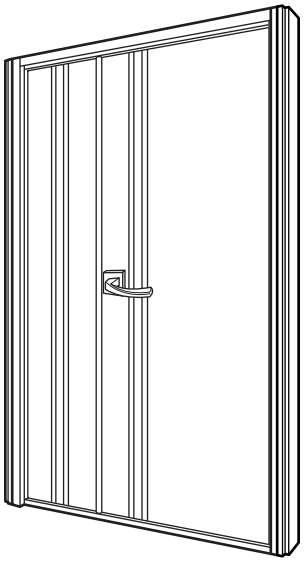
RA-OY-100531

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケンリビングドア　レリーフアートシリーズ

親　　子



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

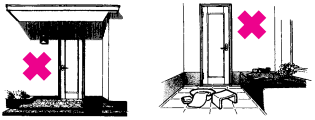
大建工業株式会社

必ずお守りいただきたいこと

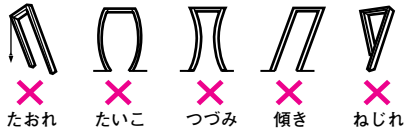
⚠ 施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●このドアは一般住宅用の室内用ドアです。
他の用途へのご使用はおやめください。



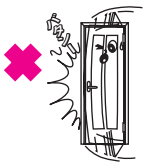
●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が閉まらない原因となります。

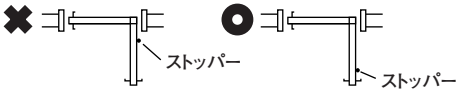


●沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。

●風の強い地域や、吹き抜け、高層階でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。
――強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れるおそれがあります。
――ドアストッパーを取り付ける場合、ドア先端部に取り付けてください。



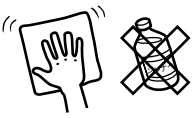


●工事が完成するまでの間、扉は壁にたてかけて保管しないでください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

お手入れの方法

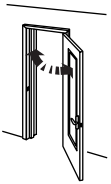
●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。



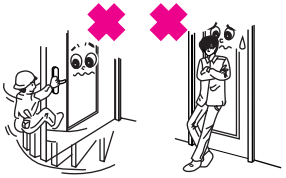
⚠ 使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

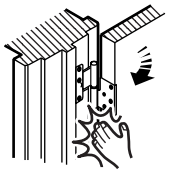
●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。



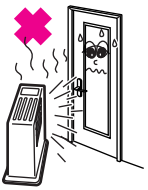
●扉の把手にぶら下ったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



●扉に指をはさまないよう把手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

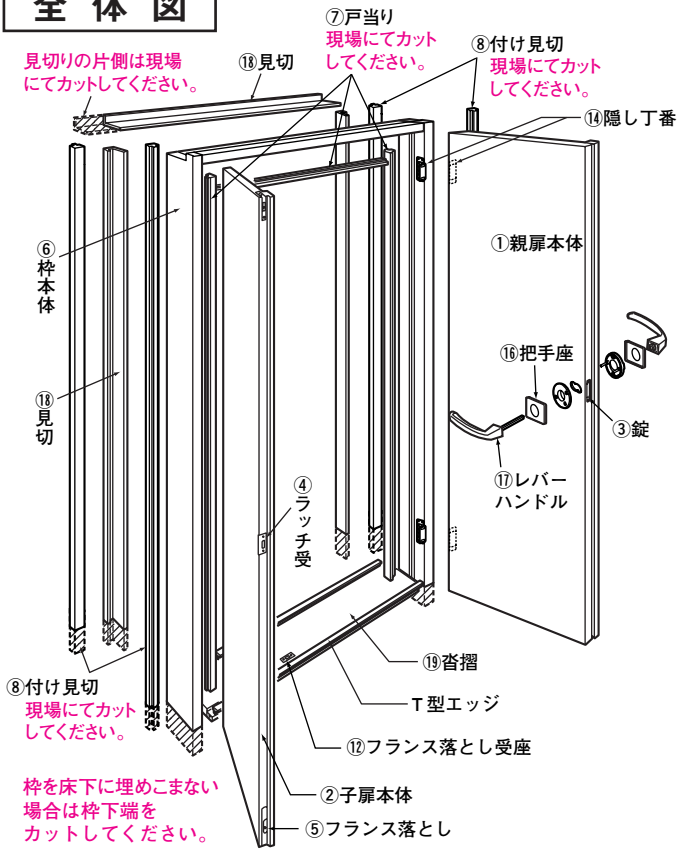


●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



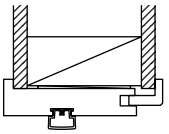
●ガラスに強い衝撃を与えたり物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

全体図



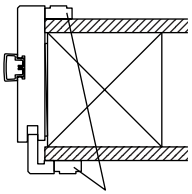
上枠

本製品は片側見切枠です。
通常の見切枠、固定枠とは施工方法が異なりますので、本説明書をよく読み施工してくださいますようお願いします。



縦枠

付け見切りは、枠の意匠性への配慮と、丁番取付部を化粧するために必要ですので、入隅以外は取り付けてください。



縦枠には付け見切りを
取り付けます。

		部品名称	数量	備考
扉セット	①	親扉本体	1	
	②	子扉本体	1	
	③	錠	1	親扉に取付済
	④	ラッチ受け	1	子扉に取付済
	⑤	フランス落とし	2	子扉に取付済

		部品名称	数量	備考
枠セット	⑥	枠本体	1	3方枠（縦枠2　上枠1）
	⑦	戸当りセット	縦用 2 横用 1	縦用　クッション無：2本 横用　クッション有：1本
	⑧	付け見切	縦用 4	L＝2100、2370
	⑨	金具セット 枠組立ビス	4	φ4.2×50
	⑩	金具セット 枠調整ビス ※薄壁枠には同梱していません	10	φ5.3×55
	⑪	金具セット 戸当り用接着剤	1	
	⑫	金具セット フランス落とし受座	2	取付ビス　φ2.7×16
	⑬	施工説明書・取扱説明書	1	必ずお施主様にお渡しください。

		部品名称	数量	備考
丁番セット	⑭	隠し丁番	4	上用・下用（8尺のみ中用） 左右各1set
	⑮	丁番取付ビス	32	φ4×25

		部品名称	数量	備考
把手セット	⑯	把手座	1	
	⑰	レバーハンドル	1	

		部品名称	数量	備考
見切セット	⑱	見切	縦用 4 横用 2	＊壁厚に合わせてサイズをお選びください。

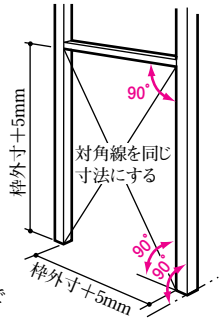
		部品名称	数量	備考
親子沓摺セット	⑲	沓摺 標準親子沓摺 本体	1	
		沓摺 T型エッジ親子沓摺 本体	1	
		沓摺 T型エッジ	2	

必要梱包　見切枠 ⇨ 扉セット＋枠セット＋把手セット＋丁番セット＋見切セット＋親子沓摺セット

準 備

◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

※扉が換気経路になる場合は高さの寸法が変わります。詳細は図面を参照してください。



⚠ 注意

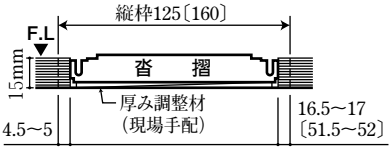
柱の垂直・床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

※柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となります。

梱包を開けて部品を確認してください。

T型エッジ沓摺（オプション）を使われる場合は下図を参照してください。

⚠ クッションフロア（CF）などのクッション性のあるフロアを使用される場合はT型エッジ沓摺を使用しないでください。



外寸法は102㎜ですので103～104㎜を目安にあけてください。

床見切を使われる場合

※フランス落とし受けが床見切に取り付けできないので扉と反対側へ取り付けてください。

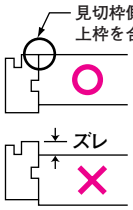
外寸法は26.8㎜ですので28～30㎜を目安にあけてください。

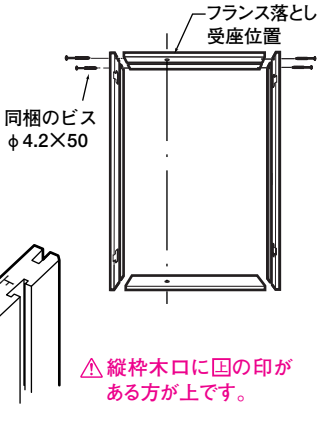
施工の前に

フランス落とし受座の向きに注意して、枠を組み立ててください。

※同梱のビスを使用してください。

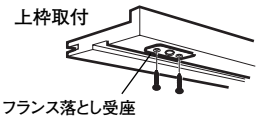
縦枠と上枠にずれがないことを確認してください。

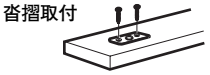




⚠ 縦枠木口に凹の印がある方が上です。

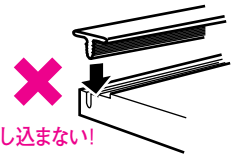
上枠・沓摺にフランス落とし受座を取り付けてください。





※T型エッジ親子沓摺はT型エッジをはめた後、フランス落とし受座を取り付けてください。

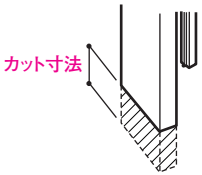
T型エッジ沓摺の場合



※T型エッジを差し込まないでください。（施工後に差し込みます）

沓摺を使用しない場合

枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。



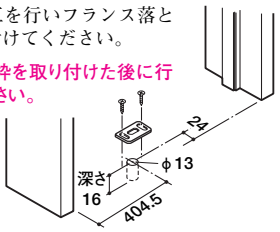
カット寸法

沓摺を使用しない場合

・扉が換気経路になる場合⇨9 mm
・扉が換気経路にならない場合⇨12mm

床に図の加工を行いフランス落とし受座を取付けてください。

⚠開口部に枠を取り付けた後に行なってください。



施工手順

1 開口部への枠の取付

①枠を開口部にはめこんで親扉側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。
※縦枠は壁厚に対して固定枠側のチリを12mmとってください。

⇩

②下げ振りを使って垂直をだしてから、親扉側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

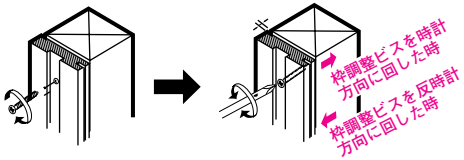
③水準器で上枠の水平を見ながら子扉側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

④下げ振りを使って垂直をだしてから、子扉側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

⑤枠の左右調整は次の様に行ってください。



(1) まず枠調整ビスで枠を固定します。

(2) 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。

⚠ 注意 調整丁番は施工後の経時変化のための微調整ですので枠の調整はしっかり行ってください。

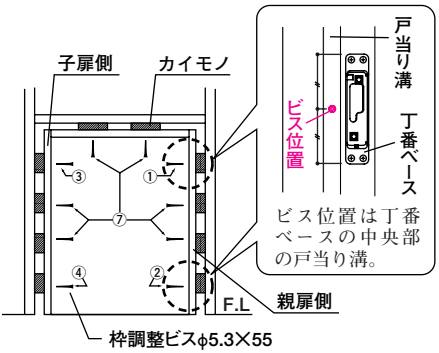
⇩

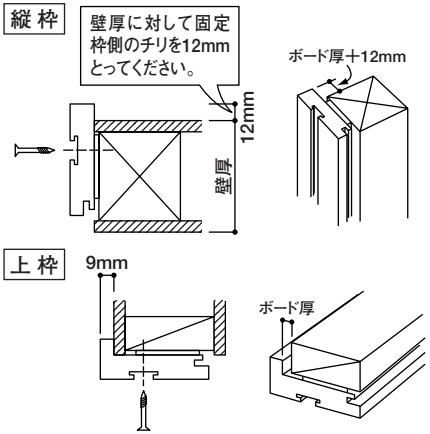
⑥調整後、枠調整ビスの上下に木工ボンド（現場手配）を塗ったカイモノ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100ミリ以上）を入れてください。

⚠ 注意 カイモノを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

⇩

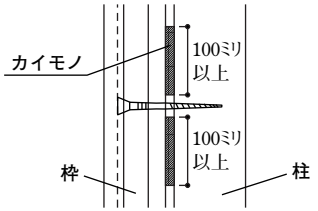
⑦枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。





①②③④部分のカイモノは下図のようにビスの上下に入れてください。

⚠必ずカイモノに木工ボンド（現場手配）を塗ってください。



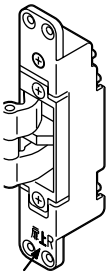
⚠ 注意 枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。扉が閉まらない原因となります。

2 扉の吊り込み

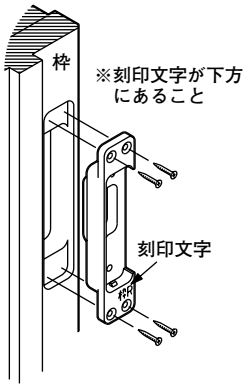
⚠ 注意

丁番の上用、下用を間違えないようご使用ください。目印として下図のように「上」又は「下」の刻印があります。

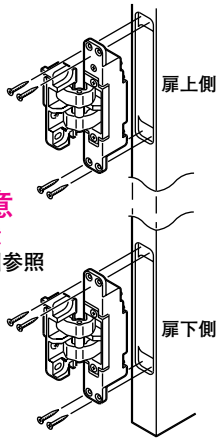
上下見分け方



①枠に丁番枠側ケースを同梱のビス（φ4×25）で固定してください。



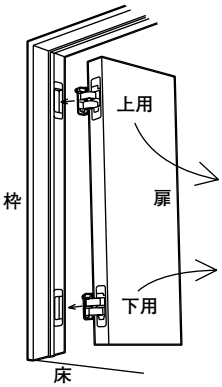
②扉に丁番本体を同梱のビス（φ4×25）で固定してください。



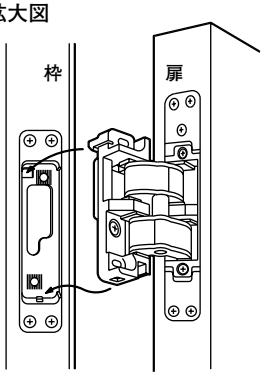
⚠ 注意

上下注意
右欄外図参照

③図のように上用丁番→下用丁番の順で吊り込み、扉を仮固定してください。

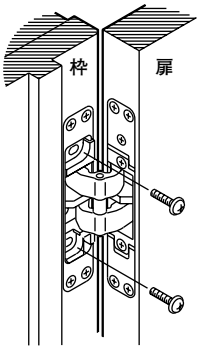


拡大図



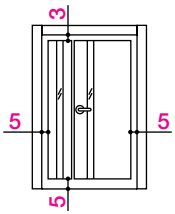
下丁番は上下スライドが自由に動きますので枠側ケースに嵌るように丁番本体の位置を合わせてから押し込んでください

④同梱のネジ（M６×20）で確実に扉を枠に固定してください。



⚠ 注意

必ず手動ドライバーを使用し、電動ドライバー等は使用しないでください。



⚠ 注意

扉と枠の隙間が右図の寸法になっているか確認し、大きく違う場合は枠建てつけ調整を再度行ってください。

⚠ 注意

丁番の調整は、必ず手動ドライバーをご使用ください。

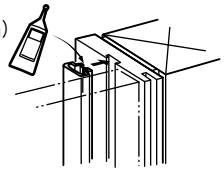
3 レバーの取り付け

把手座とレバーハンドルを取り付けてください。
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

4　戸当りの取付

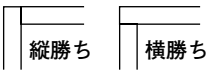
戸当りを枠のサイズに合わせてカットしドア枠に接着してください。
（必ず接着剤を使用してください。）

戸当り用専用接着剤（同梱品）



※横用戸当たりはクッションをドア側に向けて取り付けてください。

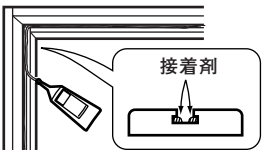
※戸当りは長めになっていますので縦勝ち、横勝ちのいずれにでも施工できます。



⚠ 注意

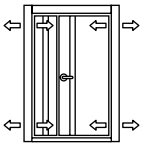
接着剤がまんべんなくゆきわたるように下図のように塗布してください。
接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りがはずれるおそれがあります。

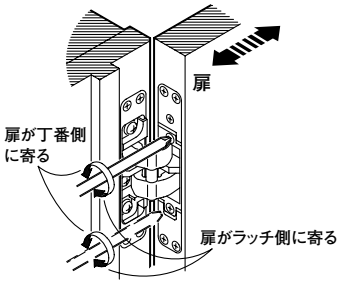
※枠溝に縦2本接着剤を塗布してください。

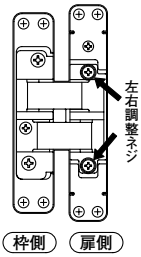


5　丁番の調整

『左右方向の調整』

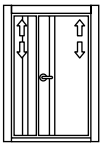


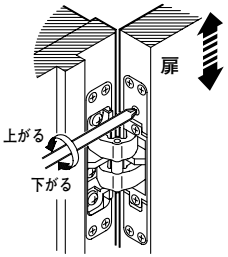


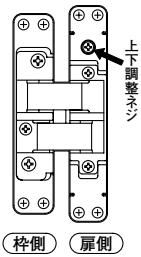


＊扉が自動的に開閉してしまう時は、扉が枠に当たらない範囲で以下の調整を行ってください。
・扉が閉まってくる場合：上丁番にて扉を丁番側に寄せてください。
・扉が開いてくる場合：上丁番にて扉をラッチ側に寄せてください。

『上下方向の調整』

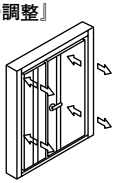


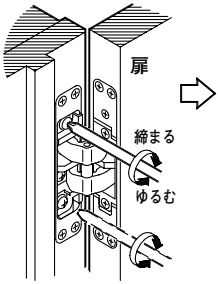


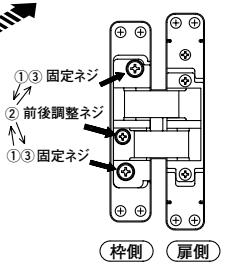


※上下調整は上丁番のみ可能です
上下調整を行う際、ネジが固い場合があります。
その際は扉を持ち上げながら調整してください。

『前後方向の調整』







①固定ネジ２本をゆるめてください
②前後調整ネジを回して調整してください
③固定ネジ２本を確実に締め付けてください

⚠ 注意　前後調整は、固定ネジ２本をゆるめてから行い調整後は、固定ネジを確実に締め付けてください。締め付けがゆるいと使用中に固定ネジがゆるみ丁番が破損したり扉が脱落する恐れがあります。

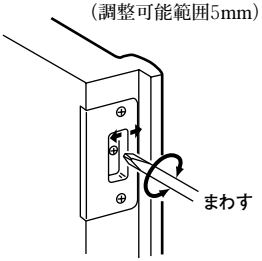
6 ラッチ受の調整

扉がガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーで調整ラッチ受座を調整してください。

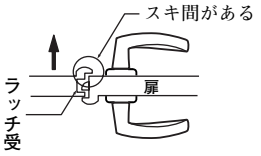
調整ラッチ受座の操作方法

※扉間のスキマが広すぎないか（標準5mm）確認し、調整してください。

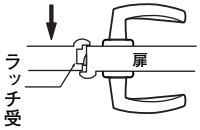
（調整可能範囲5mm）



ドアがガタつく場合



ラッチがかからない場合

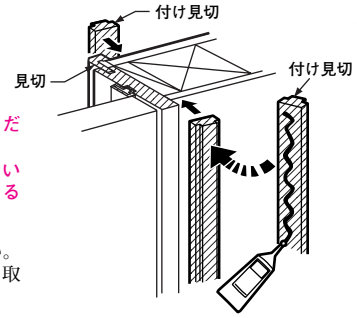


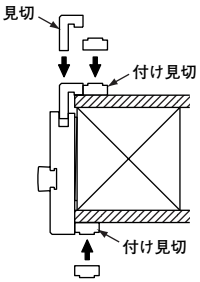
7 見切の取付

壁の施工が終了してから、見切と付け見切を取付けてください。

⚠見切に木工ボンド（現場手配）を塗布してください。
その際、ラッチ受座位置の部分には塗布しないでください。ラッチ受けの調整ができなくなる場合があります。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。
※付け見切は縦枠のみの取付けです。上枠には取付けません。

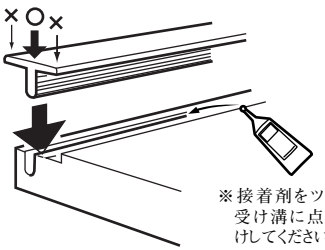




8 T型エッジの取付

T型エッジ沓摺の場合

T型エッジをツバ受けに差し込んでください。



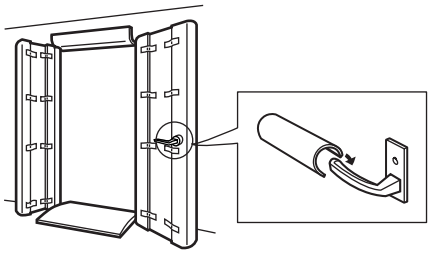
※接着剤をツバ受け溝に点付けしてください。

T型エッジは長めで同梱されていますので枠内寸法にカットして使用してください。

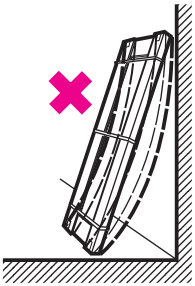
※T型エッジの**まん中を押して**はめこんでください。
※T型エッジを差し込む場合は床面との隙間が出ない様に施工してください。
隙間がある場合、T型エッジが割れる場合があります。

9 養 生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。
金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



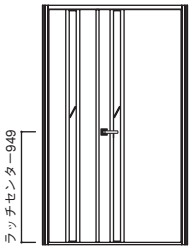
※扉を壁にたてかけて保管しないでください。



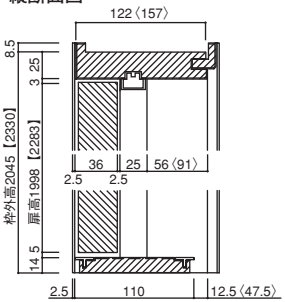
寸法図

親子ドア寸法図

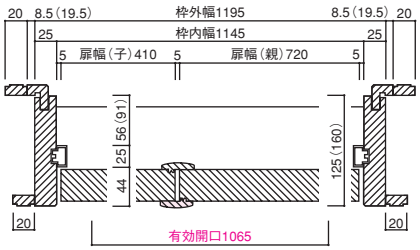
正面図



縦断面図



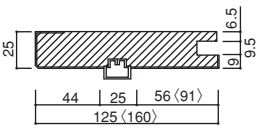
横断面図



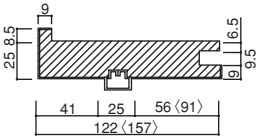
※図は扉が換気経路にならない場合
※図はT型エッジ沓摺
※【 】は2300高の場合
※〈 〉は枠サイズ160の場合

※図は見切B～E使用の場合
※〈 〉は見切Aの場合

縦枠断面図



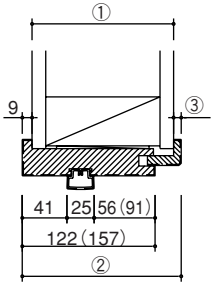
上枠断面図



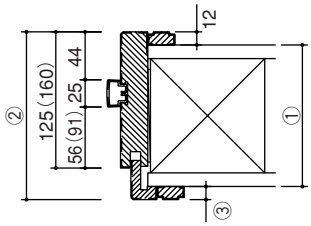
※図は枠サイズ125
※〈 〉は枠サイズ160の場合

壁厚対応

横用



縦用



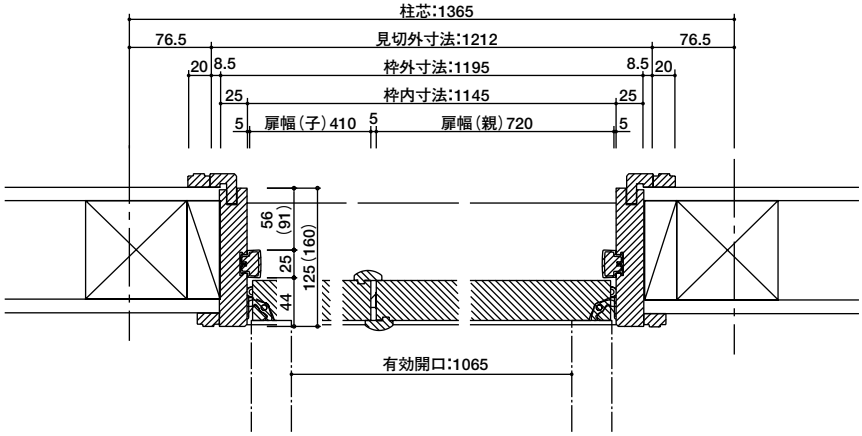
（ ）は枠サイズ160の場合

枠サイズ	見切	①壁　厚	②枠外寸		③見切出しろ	
			横用	縦用	横用	縦用
125	A	114	133	141	10	15
	B	114～121	130～137	138～145	7	12
	C	122～130	138～146	146～154		
	D	131～139	147～155	155～163		
	E	140～148	156～164	164～172		
160	B	149～157	165～173	173～181		
	C	158～166	174～182	182～190		
	D	167～175	183～191	191～199		
	E	176～184	192～200	200～208		

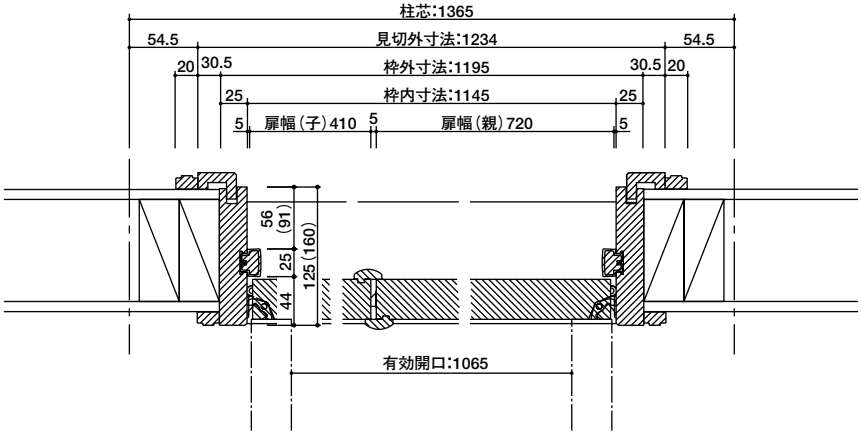
親子ドアのモジュール納まり

在来工法の場合
（見切B～Eの場合）

図は枠サイズ125の場合
（　）は枠サイズ160の場合



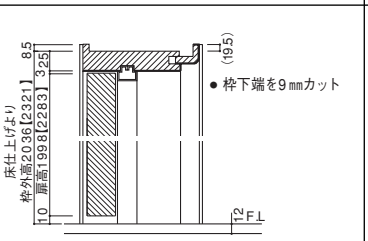
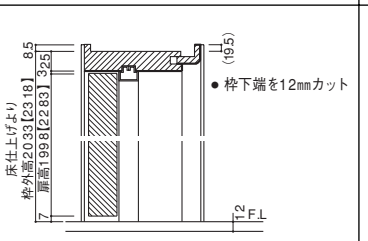
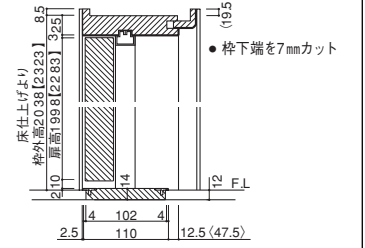
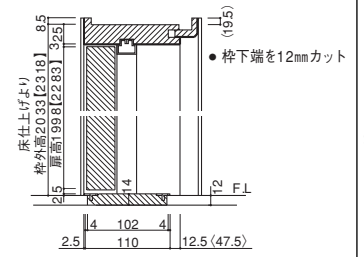
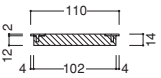
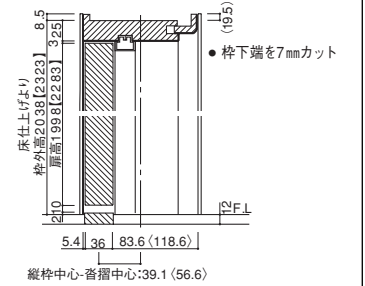
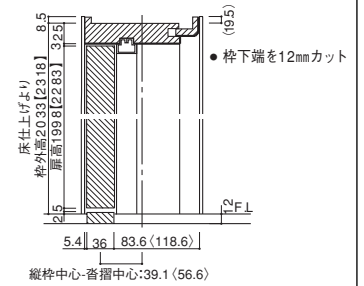
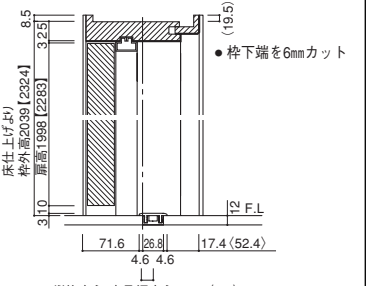
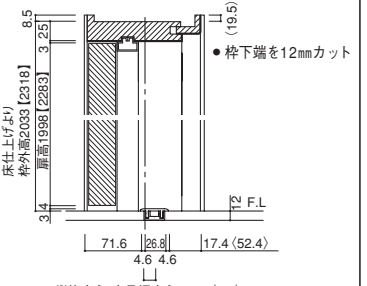
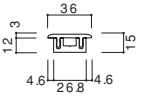
2×4工法の場合
（見切Aの場合）



親子ドア 縦断面図

図は見切B～E、フロア12㎜を使用の場合。
※枠は床上施工です。

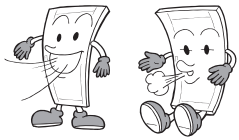
〈 〉は見切Aを使用の場合。
【 】は2300高の場合。
〈 〉は枠タイプ160の場合。

	扉が換気経路になる場合	扉が換気経路にならない場合	沓摺/床見切断面図
沓摺を使用しない場合			
T型エッジ沓摺			
薄型沓摺			
床見切親子			

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責に よらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 06-6452-6000へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社

06-6452-6032

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部
札幌営業所 ☎011-207-5330
函館事務所 ☎0138-47-7191
札幌特販営業所 ☎011-207-5330
旭川営業所 ☎0166-24-1377
帯広事務所 ☎0155-25-8421
東北営業部
盛岡営業所 ☎019-636-1161
秋田事務所 ☎018-862-4441
仙台営業所 ☎022-243-6621
山形事務所 ☎023-632-2711
東北特販営業所 ☎022-243-6621
青森営業所 ☎017-729-2201
郡山営業所 ☎024-946-7211
信越営業部
新潟営業所 ☎025-285-5887
信越特販営業所（新潟） ☎025-285-5887
長野営業所 ☎026-222-6311
信越特販営業所（長野） ☎026-222-6311
長岡営業所 ☎0258-33-5734
松本事務所 ☎0263-40-0370

北関東営業部
宇都宮営業所 ☎028-621-6431
宇都宮特販営業所 ☎028-621-6431
埼玉営業所 ☎048-669-0660
熊谷事務所 ☎048-527-5601
群馬営業所 ☎027-364-9811
首都圏営業部
東京営業所 ☎03-6271-7731
山梨事務所 ☎055-275-7931
横浜営業所 ☎045-222-4781
相模原事務所 ☎042-770-9130
平塚事務所 ☎0463-20-4771
多摩営業所 ☎042-571-3434
水戸営業所 ☎029-248-8511
つくば事務所 ☎029-849-2344
千葉営業所 ☎043-287-8491
我孫子事務所 ☎04-7183-4070
静岡営業所 ☎054-288-3881
首都圏住宅営業部 ☎03-6271-7721
首都圏集合住宅営業部 ☎03-6271-7751
首都圏リモデル営業部 ☎03-6271-7761

中京営業部
名古屋営業所 ☎052-205-5811
三河事務所 ☎0564-65-8681
岐阜事務所 ☎058-246-6752
名古屋特販営業所 ☎052-205-5811
浜松営業所 ☎053-458-5751
三重営業所 ☎059-226-7073
北陸営業部
金沢営業所 ☎076-262-3211
富山事務所 ☎076-429-7250
福井事務所 ☎0776-26-8508
北陸特販営業所 ☎076-262-3211
近畿営業部
大阪営業所 ☎06-6915-7041
和歌山事務所 ☎073-473-8090
大阪特販営業所 ☎06-6915-7041
兵庫営業所 ☎078-321-1822
京都営業所 ☎075-341-8151
沖縄営業所 ☎098-879-4916
中国営業部
広島営業所 ☎082-505-2525
山口事務所 ☎083-974-0303
広島特販営業所 ☎082-505-2525
岡山営業所 ☎086-262-2271
岡山特販営業所 ☎086-262-2271
四国営業部
高松営業所 ☎087-866-8500
高知事務所 ☎088-885-6202
高松特販営業所 ☎087-866-8500
松山営業所 ☎089-945-8569
徳島営業所 ☎088-622-6261
九州営業部
福岡営業所 ☎092-413-2345
北九州事務所 ☎093-522-1224
長崎事務所 ☎0957-35-0161
大分事務所 ☎097-533-8701
福岡特販営業所 ☎092-413-2345
熊本営業所 ☎096-372-5211
南九州特販営業所 ☎096-372-5211
鹿児島営業所 ☎099-254-8300
宮崎事務所 ☎0985-26-5908
西部住宅営業部 ☎06-6452-6232

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2009.08 現在